

		自 己 評 価			
		評価項目と具体的取組	評価指標	達成度判断基準	備考
①	組織的な学校運営	〈組織的な学校運営〉 各主任が中核となり現状課題に対する改善提案をして、教職員各々が校務に責任をもち、一丸となって学校教育目標の具現化を図る。	【成果指標】 実態把握と現状課題に対する取り組み提案がされ、組織的に対応し成果を上げている。	提案が改善工夫され成果があった割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：総務部 評価方法：教師アンケート調査 実施時期：7月 12月
		〈教職員研修〉 教職員は、積極的に研修に努め、その成果を他の教職員と共有し、本校にとって有効なものを共通理解し実践に結びつけていく。	【成果指標】 紙面などで研修報告を行い、成果を共有して、本校にとって有効なものを実践に結びつけている。	提案を受けて実践に結びつけられた教師が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：教育推進部 評価方法：教師アンケート調査 実施時期：7月 12月
		〈いじめ・不登校対応〉 児童理解の会を月1回開催し、いじめ及び、児童の実態把握に努め、子どもたちの出すサインを見逃さない体制ができています。	【成果指標】 児童の思いを柔軟にとらえる教師集団が、子どもたちの居場所のある学校づくりに励んでいる。	サインを見逃さない体制ができておりと思う教師と学級で居場所があると感じる児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：生徒指導部 評価方法：教師アンケート調査 児童アンケート調査 実施時期：(教)7月12月(児)6月11月
②	確かな学力の育成	〈授業力向上〉 学校研究を核とし、ねらいを明確にし、定着を意図した効果的な指導法を図るなどの授業改善に努め、授業力向上をめざす。 【学びの指針11条】	【成果指標】 教師が、ねらいを明確にし、既習事項の定着にむけて、日々努力している。	日々の授業で、改善に向けて努力している教師の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：教務部 評価方法：教師アンケート調査 実施時期：7月 12月
		〈学力向上〉 国語、算数の学習内容を確実な習熟を進め、活用する力を育てる授業実践をする。 【学びの指針3条】	【成果指標】 学力向上プランに取り組み、国語と算数において、学習内容の習得と活用力が高まっている。	国語、算数の単元末テストの達成度平均が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：教務部 評価方法：国語算数単元末テスト 実施時期：7月 12月
③	豊かな人間性の育成	〈積極的な生徒指導と学級づくり〉 授業を中心に、認め合い、励まし合う人間関係力を向上させ、生き生きと楽しい学級づくりをする。	【成果指標】 授業を中心に、認め合い、励まし合う人間関係が高まり、児童が楽しく学級生活を送っている。	楽しい学級だと感じている児童の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：教育推進部 評価方法：児童アンケート調査 実施時期：6月 11月 2月
		〈読書活動の充実〉 伝統ある読書活動を基盤に、学校の実態に合わせた取り組みを充実させ、進んで本に親しむ環境を整備し、豊かな情操を養う。 【学びの指針8条】	【成果指標】 朝読書の充実と「おすすめ10冊(5冊)」をすべて読み終えるよう取り組んでいる。	おすすめ10冊を読み終えた児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：教育推進部 評価方法：読書冊数の集計調査 実施時期：10月 1月初め
		〈キャリア教育の推進〉 くしっ子夢プロジェクトをもとに、将来への夢や希望を持ち、目標に向かって努力する児童を育てる。 【学びの指針10条】	【成果指標】 将来への夢や希望を持ち、目標に向かって努力している。	将来への夢や希望を持ち、目標に向かって努力している児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：キャリア教育担当 評価方法：児童アンケート調査 実施時期：6月 11月
④	健やかな体の育成	〈体力づくり〉 体育授業の充実とスポチャレ、1校1プラン、異学年交流等年間を通した体力づくりの取り組みを進め、運動の日常化と体力の向上を図る。	【成果指標】 体育の授業やスポチャレを中心に、体力づくりに意欲的に取り組んでいる。	スポチャレを積極的に取り組んでいる児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：健康安全部 評価方法：児童アンケート調査 実施時期：11月
		〈健康教育〉自己管理能力の育成 健康安全教育を進め、自らの健康・安全に興味関心を持ち、自己管理能力を育成する。	【成果指標】 けが防止の自己管理能力に成果があり、健康的な生活を意識している。	健康的な生活への意識向上が見られる児童の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：健康安全部 評価方法：児童アンケート調査 実施時期：6月 11月
⑤	家庭・地域との連携	〈社会性の育成〉 学校・家庭・地域が連携して、日常的に自然で明るいあいさつができる児童を育成する。	【成果指標】 学校ではもちろん、家庭や地域でも、児童が身近な人に気持ちのよいあいさつをしている。	児童が気持ちのよいあいさつをしていると感じている教師・保護者の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：生徒指導部 評価方法：保護者アンケート調査 教師アンケート調査 実施時期：6月 11月 2月
		〈教育活動の公開と改善〉 各種の学校行事に積極的に保護者が参加するよう、学校教育活動を公開し、評価を受け改善していく。	【成果指標】 授業参観、育友会総会、学級懇談、学校保健委員会、親子レク等の取り組みに多くの保護者が参加している。	保護者対象の学校行事に、できるだけ参加する保護者の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：総務部 評価方法：保護者アンケート調査 実施時期：6月 1月
		〈経営方針や教育活動の啓発〉 学校からの発信を充実させ、保護者に学校の経営方針や教育活動を伝え、理解と協力を得る。 【学びの指針12条】	【満足度指標】 保護者に学校の経営方針や教育活動が理解されている。	学校の方針や様子が伝わっていると感じる保護者の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：総務部 評価方法：保護者アンケート調査 実施時期：6月 1月